

菊池市子ども会大会が開催されました!!

2月28日(日)

菊池市子ども会育成協議会主催の菊池市子ども会大会が、旭志公民館で行われました。子ども会員と保護者で約40人の参加者があり、科学体験と木工体験をしました。

小学校の理科の勉強とは少し違う科学の実験やおもちゃ作りを楽しそうにしていました。

木工体験は、慣れない金づちを手に友達やスタッフと協力し合いながら、イスや本棚、CDラックを完成させていました。



真剣にストローとんぼを作る参加者

平成21年度自衛隊入隊者合同激励会開催

3月6日(土)

平成22年度から自衛隊に入隊する新入隊員の激励会が、自衛隊父兄会菊池地区協議会主催により、大津町文化ホールで開催されました。

菊池地区(菊池市・合志市・菊陽町・大津町)合同で開催され、菊池地区全体では35人の入隊者があり、その中で菊池市からは10人が入隊されます。激励会終了後には、西部方面音楽隊による壮行会演奏もあり、緊張していた入隊予定者もリラックスして演奏を聞いていました。



今後の活躍を期待しています

榎田嘉行さん旭日単光章を授章

2月24日(水)

榎田嘉行さんは、昭和50年5月から3期12年の永きにわたり旧七城町議会議員として終始一貫地方自治の発展にご尽力されました。

また、七城町農業委員や清水区長としてもご活躍され、現在も農業に従事されメロンやトマトなどの野菜づくりに専念されています。

この叙勲は永年にわたる地方自治功労が認められたものです。



授章おめでとうございます

泗水中学校からハイチ大地震義援金

3月2日(火)

泗水中学校ではハイチ大地震の復興支援のために、生徒会が中心となって募金活動を行いました。

菊池市でも菊池国際交流協会が中心となって募金活動を行っており、泗水中学校で集めた義援金も一緒に届けて欲しいと持参されました。泗水中学校からいただいた義援金も含めて、市民の皆さんから約20万円の募金をいただきました。ありがとうございました。集められた募金は、日本赤十字社を通じて、ハイチへ送金されます。



坂口雄太さんと清水美恵子さんから福村市長へ

節子さんが菊池市を訪問

2月17日(水)～19日(金)

スイス在住で菊池一族の末裔にあたる、節子・クロソフスカ・ド・ローラ(出田節子)さんが、東京で自身の個展を開かれたのを機に菊池市を訪問されました。

4回目の菊池市訪問となる今回は、「きものを纏う(まと)う美」と題して文化講演会も開催され、平日の夜にも関わらず市内外から140人を超える参加者がありました。節子さんは「着物を着るということは日本を纏うということ。特別な日に着るのではなく普段から自然に着ることが大切」と話されました。会場には着物姿の聴衆者も多く、参加者は一心に聴き入っていました。



お雛まつり交流会の様子

また、七城町亀尾の碧巖寺を訪れたり、先祖の地である菊池市出田の古池城(出田城)で桜の記念植樹をされ、地元の人々との交流を深められました。19日には菊池夢美術館でお雛まつり交流会に参加され、色とりどりの鮮やかなお雛様と来場者との交流を楽しまれました。



古池城で桜の記念植樹をされている節子さん

徳富愛子生誕135周年記念講演会

2月20日(土)

菊池市隈府中町出身で、明治の文豪徳富蘆花の妻である徳富愛子生誕135周年を記念して、菊池市文化会館で講演会が開催されました。当日は夫妻が後半生を過ごした旧邸「蘆花恒春園」がある東京都世田谷区など、市内外から120人を超える来場がありました。「夫蘆花が語る徳富愛子」と題した講演会では、蘆花・愛子研究の権威である熊本県立大学文学部の半藤英明教授が、蘆花の作品に裏打ちされた愛子の人物像などについて話されました。また、会場には蘆花・愛子ゆかりの遺品が展示され、来場者は珍しそうに眺めていました。この他、菊池高校放送部の生徒たちによる朗読の演出や、最後には愛子さんが作っていたものを再現した手縫いの巾着袋「愛の袋」の抽選会もあり、温かみを感じる講演会となりました。



愛子さんの資料を映し出して説明している様子

西郷隆盛公祖先発祥の地で植樹

2月26日(金)

西郷隆盛公は、その祖先発祥の地が七城町西郷地区にあり、奄美大島の龍郷町に3年余り隠れ住んだ時期には名前を菊池源吾と名乗りました。

その龍郷町で隆盛公について勉強されている「西郷塾(安田荘一郎塾長)」の人々が、菊池市を訪問されました。祖先発祥の地である菊池市でも「菊池源吾に学ぶ会(園木馨会長)」を3年前に立ち上げ、相互訪問などの交流を行っています。

今回、龍郷町から交流の記念としてヒガンザクラを持参され、西郷地区の公民館敷地内にある徳富蘇峰書「西郷南洲先生祖先発祥の地」の記念碑の脇に植樹を行いました。

ヒガンザクラはソメイヨシノなどに比べると開花時期が早く、来年の3月上旬にはピンクの花を咲かせることでしょう。



「西郷南洲先生祖先発祥の地」の記念碑をバックに記念撮影